



インドネシアに製造拠点

ナ・デックス

自動化設備を生産 2月に稼働へ

溶接機器の製造販売などを手掛けるナ・デックスは、インドネシアに工場進出する。工場向けの自動化設備を生産する子会社を設立。2月下旬に工場稼働させ、現地に進出する日系自動車部品メーカーなどに供給する計画。自動車市場が拡大する同国では人件費が上昇し、工場の自動化ニーズが高まっている。現地で供給体制を整え、おうち盛な需要を取り込む考えだ。(山田悠)



高田寿之社長

製造子会社は、ジャカルタ近郊のジャババカ工業団地2に立地する。周辺にはトヨタ系の自動車部品メーカーなどが進出している。資本金は約3千万円で、建屋の延べ床面積は456



2月に稼働可能なインドネシアの製造拠点

後自動車市場の拡大に伴い、さらなる工場進出が予想される。近年は人件費が上昇しており、生産ラインの自動化や省力化のニーズが高まっている。ナ・デックスは2012年、同

会社を設立した。品質や納期面に優れた日本製の自動化設備を現地で調達したいという現地の日系企業のニーズに対応し、工場進出することにした。高田寿之社長は「インドネシアで高品質な自動化設備を提供していきたい」と話している。同社の16年4月期の連結売上高は302億7700万円。海外拠点は米国、中国、タイ、メキシコ、インドネシアにある。これまで

インドネシアを除く四カ国で工場をかましている。

2017年(平成29年)
1月18日
水曜日
発行所
中部経済新聞社
〒450-8561
名古屋市中村区
名駅4-4-10
編集局 052(561)5212
読者開拓局 052(561)5216
広告部 052(561)5213
事業部 052(561)5675
総務部 052(561)5215
東京支社 03(3572)3601
©中部経済新聞社2017
ホームページ
www.chukei-news.co.jp